



第3回ハッチネットセミナー

八王子市幼児教育・保育センター
連絡先 042-673-3707

令和6年11月7日(木)18:30~20:30 八王子市教育センター大会議室

第1部 講義 障がいがある子どもの人権と主体性 未来の子どもが育つ場を創る



講師 東京都立大学 名誉教授 浜谷 直人 氏

参加人数:91名

以下を中心に講義をしていただきました。

- 1 こども基本法と子どもの権利条約
- 2 合理的配慮における集団指導上の課題
- 3 多様性・平等・差別
- 4 障がいの社会モデル



第2部 グループワーク(事例検討)

M君(特別支援対象児)に対して、子どもの人権、とりわけ意見表明権と参加する権利を大切にするという観点からそれぞれの立場(教諭・保育士・園長・主任・外部の専門職等)で話し合ってください。

【事例】 M君は、入園当初からことばの遅れがあり、集団に入らず、一人遊びをしていることが多かった。お集りや食事場面で、席に座っていると、立ち歩き、奇声を発するなど、周囲の子どもの嫌がることをする様子が頻繁に見られた。午睡時は室内を走り回り、他児を踏みつけることがあり、別室で個別対応をしていた。～中略～M君に、どのようなことをしてあげるといいでしょうか？



グループ討議の後、各グループに発表していただきました。

～幼児教育・保育アドバイザーより～

その子のできないことばかりに着目するのではなく、今、何を面白がっているのか感じ取り、没頭する体験が多く積み重ねられる環境を整えることが重要だと考えます。障がいの有無にかかわらず、自己肯定感の高まりによって、様々なことにチャレンジする意欲が培われていくものです。

アンケートからの感想(一部抜粋)



- ・非常に考えさせられるご講義でした。今までは褒める保育がこどものためと思っていましたが、解釈が違ったことを学び、今後の保育に活かしていきたいです。
- ・浜谷先生のお話を踏まえながら、様々な園や職種の方々と意見を交換することができて、とても勉強になりました。
- ・様々な視点からひとつのケーススタディが面白かったです。

次のハッチネットセミナー(予定)



「アタッチメントの問題がある子どもの対応について」 帝京大学 文学部 心理学科 教授 近藤 清美 氏

日時:令和7年2月6日(木) 18:30~20:30 場所:八王子市教育センター※詳細につきましては、別途お送りします。